

自動車内装材、各種建築材料等 揮発性有機化合物(VOC)分析

エネルギーや人体への影響など様々な環境対策が推進されているが、その一つに揮発性有機化合物(VOC)の軽減対策が挙げられる。人体に直接的な影響があるため、住環境、家電などに加え、自動車内環境も対象であり、各社メーカーおよびこれらの部品・素材メーカーによって、VOC 軽減が積極的に取り組まれている。三井化学分析センターは各種規格はもちろん、試料形態や使用目的に適した評価方法を提案する。

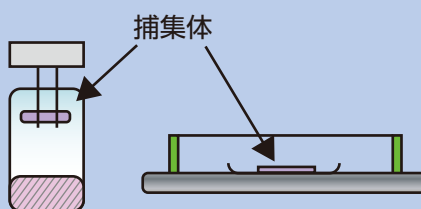
▶ 揮発性有機化合物(VOC)分析

The List of VOC Analysis

	自動車内装材	建築材料	工業材料
対象	<ul style="list-style-type: none"> ・テストピース ・各種 ASSY (運転席、助手席、インパネ、ダッシュボード、カーペット、ドア、サンルーフ 等) ・塗料、接着剤、テープ、シーラー 等 	<ul style="list-style-type: none"> ・建築用ボード類、壁紙及び床材 ・建築材料用接着剤、塗料 ・建築用仕上塗材の塗膜 ・建築材料用断熱材など 	<ul style="list-style-type: none"> ・ペレット ・フィルム ・成形品 ・パウチ、容器 等
サイズ	各種規定サイズもしくは単体		
容器 等	<ul style="list-style-type: none"> ・バッグ法：10～2000L ・チャンバー法：20L 	<ul style="list-style-type: none"> ・チャンバー法：20L 	<ul style="list-style-type: none"> ・バッグ法 ・チャンバー法
測定物質	<ul style="list-style-type: none"> ・厚生労働省指定 13 物質 ・TVOC ・アクロレイン、ベンゼン 等 		
検出装置	HPLC,GC/MS		
規格	各自動車メーカー規格に対応	JISA1901:2003	—
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・大型バッグ専用乾燥機保有 	—	<ul style="list-style-type: none"> ・捕集体を活用した微小空間や微量 VOC 分析¹⁾

1) 捕集体を活用した微小空間や微量 VOC の分析

試料をバイアルに入れ、ヘッドスペース部に捕集体をセットして数時間放置



閉鎖空間(室内・ケース等)に捕集体を入れ、数時間放置(ケース内面から発生するアウトガスの捕集が可能)

